

漢字集合 1面とは、JIS X 0213 で定義されている 2 つの符号化文字集合の 1 つです。8,797 文字を収録しています。JIS X 0208 の上位互換となっています。JIS X 0208 の符号表の空き領域の大部分を文字で埋めたものです。

この符号化文字集合は、ISO/IEC 2022 に整合的な 94 × 94 文字の 2 バイト符号化文字集合です。各符号位置には 7 ビットの 2 バイトコードが対応します。符号位置は区点番号で例えば「16 区 1 点」のように表されます。漢字集合 2 面と区別するために、面番号を先頭につけた面区点番号（例えば「1 面 16 区 1 点」）が、符号位置を示すのによく使われます。

## 文字レパートリーの概要

JIS X 0208 に対して、以下のような文字が追加されています。

- ・非漢字
  - ・アクセント記号などダイアクリティカルマーク付きのラテン文字。フランス語やドイツ語等欧州言語で使われるものや、日本語のローマ字表記で長音を表すものなど。特に、西欧の ISO/IEC 8859-1、中欧の ISO/IEC 8859-2 の文字は全て含む
  - ・英和辞典に使われるような発音記号
  - ・数学記号等
  - ・印刷物に使われる約物類、例えば白抜きの括弧や蛇の目記号等
  - ・著作権表示記号、ユーロ記号などの記号類
  - ・アイヌ語の表記に使われる小書き等の片仮名
  - ・鼻濁音表記用の平仮名・片仮名
  - ・丸付き数字やローマ数字等、Windows のベンダ定義外字 (CP932) と互換の記号類
- ・第 3 水準漢字
  - ・一般用語、学術用語、地名、人名等に用いられる漢字で、第 4 水準漢字より使用頻度の高いもの
  - ・JIS X 0208 の 1983 年改正 (83JIS) の字体変更によって消えた 78JIS 字体の復活 (29 文字)
  - ・人名用漢字として許容されている旧字体、常用漢字表に示されている旧字体のうち、JIS X 0208 で他の字体と包摂されているものを分離したもの（「人名許容・康熙別掲」）

この符号化文字集合によって、現行 (2013 年現在) の常用漢字と人名用漢字がカバーされます。

## 2004 年改正による追加

この符号化文字集合は 2000 年の JIS X 0213 初版で定義されましたが、2004 年改正の際、第 3 水準漢字が 10 文字追加されました。この 10 文字は「表外漢字 UCS 互換」と呼ばれます。

## 参照情報

JIS X 0213 の漢字集合 1 面の符号表は、ISO-IR のサイトで閲覧することができます (番号 233)。

## 関連項目

- ・ JIS X 0213
- ・ 漢字集合 2 面

コメント